

研修センター概要

【設置趣旨と指定管理者】

当センターは、青少年や青少年指導者、育成者の団体宿泊研修施設として横浜市が設置し、公益財団法人よこはまユースが指定管理者として、管理・運営を行っています。

【運営方針】

青少年を中心としたグループ・団体や青少年指導者・育成者にとって利用しやすく、親しみやすく、また利用してみたいと思えるような安全で安心できる施設の環境づくりを行います。

また青少年に限らず、様々な分野のボランティア・市民活動団体、企業等の利用促進を図ります。

【センターの特徴】

利用団体による自主運営を基本にしていますが、団体の研修活動を応援するために「プログラムに関する相談」を行っています。研修プログラムの企画・運営にかかわることなどお気軽にご相談ください。

【利用時間】

宿泊利用 入所日 14:00～退所日 11:00

日帰り利用 9:00～12:00、13:00～17:00

【宿泊室】

宿泊室 1 部屋あたり 8 人宿泊でき、全てのお部屋が 2 段ベッドとなります。

和室は原則宿泊室としてご利用いただけません。

1 階 9 部屋(72 人)

2 階 16 部屋(128 人) 計 25 部屋(最大 200 人まで)

【研修室・和室】

	CD	DVD	ビデオ	マイク	プロジェクター	OHC 投影機	ピアノ	テレビモニター
第1 研修室	○	○	×	○	○	○	○	×
第2 研修室	○	○	○	○	○	○	○	○
第3 研修室	○	○	○	○	○	○	○	○
和室	○	○	×	○	○	×	×	○

※CD プレーヤーなどの貸し出しも行っていきます。

詳しくは P16 「貸出物品」をご参照ください。

【休館日】

- ・施設点検日(月に 2～3 日)
- ・年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

※施設点検日の前日は、宿泊利用はご利用になれません。

日帰り利用のみご利用いただけます。

利用料金

【宿泊利用料金】

・高校生以下およびその引率者	1人1泊	600円
・25歳未満の方で、高校生以外の方 ・青少年指導者および育成者		1,200円
・その他（企業研修など）		2,400円

※団体の研修の内容によって、料金が決まります。
一概に利用者個人の年齢によるものではありません。

【宿泊利用料金の中に含まれるもの】

- ・シーツ代
- ・研修室利用料
- ・光熱水費(厨房・浴室など)

【日帰り利用料金】

利用希望日の4週間前から受付をいたします。

(単位：円)

利用時間		午前	午後	1日
		9:00~12:00	13:00~17:00	9:00~17:00
第1研修室		9,100	12,100	21,200
第2研修室	全面	5,000	6,800	11,800
	半面	2,600	3,400	6,000
第3研修室		4,400	5,800	10,200
和室1・和室2		1,400	1,800	3,200

※青少年団体および青少年指導者、育成者を対象とした研修の日帰り利用料には、減免措置があります。事前に申請手続きを行ってください。

【その他利用料金】

- ・日帰り厨房利用料 1人50円（研修室・和室をご利用の方に限り）
- ・体験プログラム料金

【支払方法】

当日、現金にて利用料をお支払いいただきます。(17:00までを目安にお願いします。)
精算終了後、人数分のシーツをご用意いたします。

※領収書は「児童分」「引率者分」などで分けることも可能です。

精算の際に職員までご相談ください。

※精算終了後の返金は原則できませんのでご注意ください。

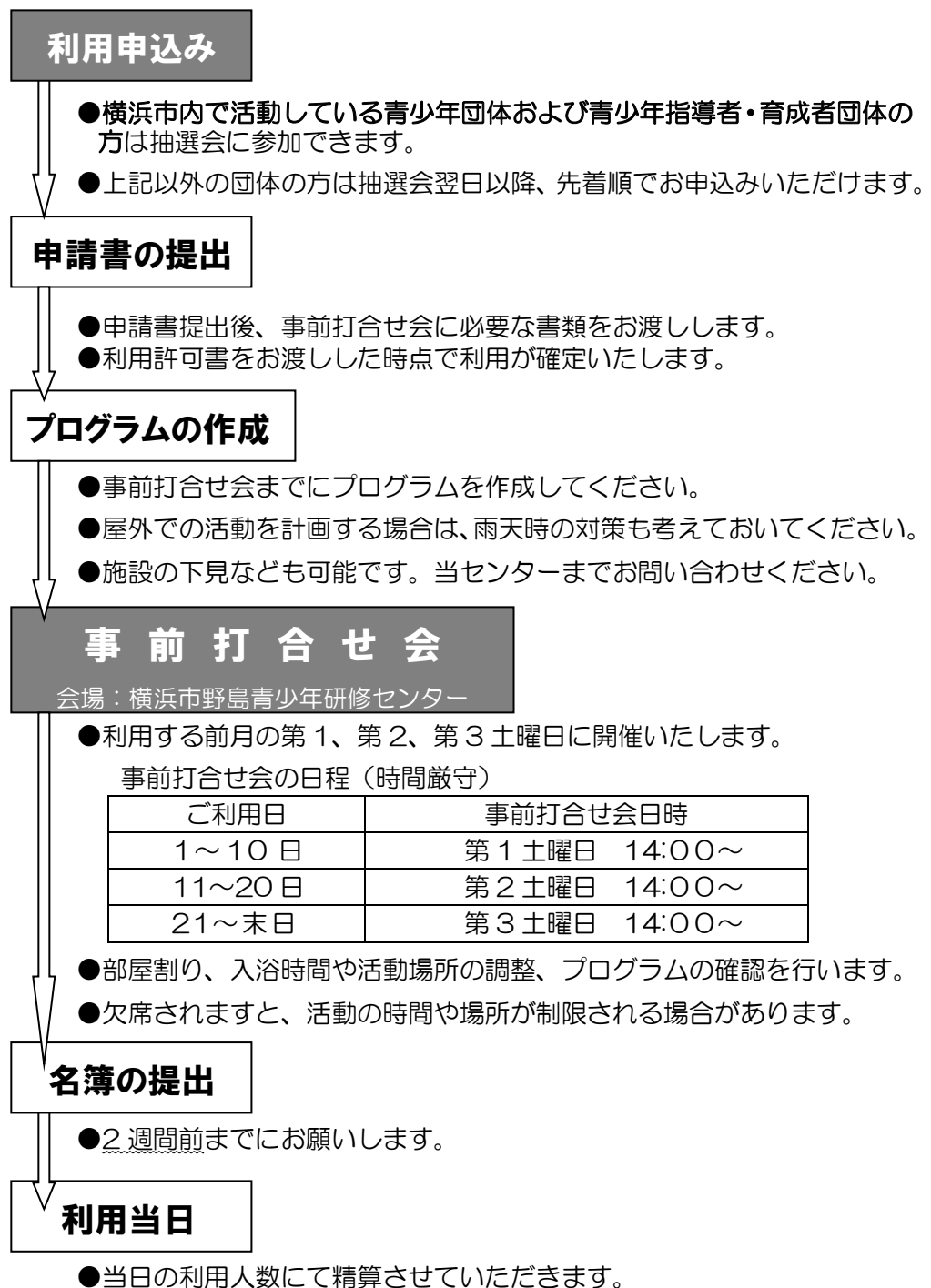
【キャンセルについて】

- ・体験プログラムの中には変更期限を過ぎると人数変更できないものもあります。
- ・キャンセルや人数変更についてはお早めにご連絡ください。
その際のキャンセル料金は発生しませんが、次回からご利用をお断りする場合があります。

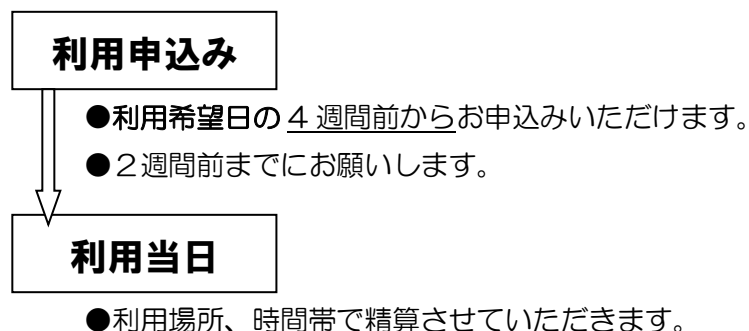
研修センター利用までの流れ

1. フローチャート

【宿泊利用】



【日帰り利用】



2. 利用の手続き

(1) 利用申込み

宿泊利用はおおむね20人以上の団体が対象となります。

横浜市内で活動している青少年団体および 青少年指導者・育成者団体	抽選会にお申込みいただけます。 詳しくは下記「抽選会について」を ご確認ください。
上記以外の団体	抽選会の翌日からお申込みいただけます。

- 申込みが「事前打合わせ会」終了後の場合は、研修室、入浴時間、貸出機材などの利用が制限される場合がありますので、早めに研修の予定をご計画ください。

(2) 抽選会について

宿泊希望月が4月～7月中旬もしくは9月～3月 → “抽選会” へのお申込み	
申込期間	3ヶ月前の1日9:00～第2土曜日17:00まで
実施日	3ヶ月前の第2日曜日 13:00から
宿泊希望月が7月中旬～8月 → “夏期抽選会” へのお申込み	
申込期間	4月中旬～抽選会前日17:00まで
実施日	5月中旬 13:30から ※日程の詳細については、当センターにお問い合わせいただくか、当センターのホームページでご確認ください。

- 抽選会では1泊分のみ受付が可能です。2泊以上をご希望の場合は、抽選会後にお申し込みください。
- 研修室の利用については「事前打ち合わせ会」の際にお申し込みください。

【受付方法と時間】

施設休館日を除く9時～17時までの間に、ご来所またはお電話にてお受けいたします。

横浜市野島青少年研修センター 電話：045-782-9169

【抽選会当日】

代表者にご出席いただき、くじ引きにて宿泊日を決定いたします。

宿泊日の決定後、利用申請書のご記入とご提出をお願いします。

上履きと筆記用具をご持参ください。

抽選会用の駐車スペースはありません。公共の交通機関をご利用ください。

抽選会には必ず1団体1人以上ご参加ください。

(3) 事前打合せ会

- 利用当日の活動が円滑に行われるように、利用する前月に事前打合せ会を行います。同じ日に利用する他の団体の方との顔合わせと、団体のプログラムの確認の場となります。事前打合せ会当日までに、利用場所を含めたプログラム案を作成してください。
 - 事前打合せ会に欠席されますと、入浴時間、研修室の利用などのご希望に添えない場合があります。欠席される場合は、必ず事前連絡の上、職員とのプログラム確認の日を別途調整してください。
- (事前にプログラムを提出された場合でも、事前打合せ会に出席している団体が優先となります。)
- 事前打合せ会用の駐車スペースの用意はありません。公共の交通機関をご利用ください。

【事前打合せ会で行うこと】

- ア. 部屋割り表の配布
利用していただく宿泊室や厨房・食堂の場所は当センターで事前に割り振らせていただきます。
申請いただいた人数をもとに部屋割りを行いますので、人数に変更がある場合は事前に当センターにご連絡ください。
- イ. 研修室、入浴時間など、利用団体間での調整
各団体のプログラム案をもとに入浴時間や研修室の利用時間を代表者に調整していただきます。
当日のプログラムがわかる方がご出席ください。
- ウ. その他
研修に必要な備品や当センターへの要望を職員までお申し出ください。
活動の企画・運営に関することなどお気軽にご相談ください。
- エ. 『活動予定表』の提出（打合せ会終了後）

(4) 提出書類

利用許可申請書	抽選会に参加された方	抽選会終了後にご提出ください。
	抽選会に参加されていない方	申し込み完了後、お早めにご提出ください。
	利用許可証をお渡した時点で、利用が確定します。 ※できるだけ多くの方に当センターをご利用していただくことができるように、申請時より人数が大幅に減ることがないようにお願いします。	
活動予定表	入所から退所までの活動内容と活動場所が分かるものをご提出ください。 詳しくはP11「活動予定表の記入例」をご確認ください。	
利用者名簿	センターでの活動を円滑に進めるため、各責任者を定め名簿にご記入ください。 団体責任者：当センターでの研修活動の総括責任者 研修責任者：研修プログラム進行および当センターとの連絡責任者 生活責任者：食事、入浴、清掃、リネン貸出し等の責任者 厨房責任者：厨房と食堂の火器、食品、戸締り等の責任者 ※本国内に住所を持たない外国籍の方は、 <u>旅券(パスポート)の呈示とその写しをご添付ください。</u>	
提出期限	利用日の2週間前まで（窓口・FAX・メール・郵送） 窓口以外でご提出する場合は、送信後に当センターまで確認のお電話をお願いします。	

入所から退所まで

1. 事前の取組み

(1) スタッフ会議

- 決定したプログラムについてスタッフ全員が共通理解をもって活動を行ってください。
- 事前打合せ会の内容は、スタッフ全員に周知していただくようお願いします。

(2) 事前指導

- 団体責任者の方は、施設のルールや持ち物など、参加者全員に対して事前に指導するようお願いします。
- 団体責任者の方は、参加者全員の健康状態を把握しておくようお願いします。

(3) 下見

- 参加者の安全及び円滑に活動をすすめるために下見をおすすめしています。
下見を希望される方は、事前にお電話にてご予約をお願いします。

2. 入所時間と方法

- 入所前に必ず**入所式**を行います。
入所式が終了するまで当センターはご利用になれません。
14:00以降、利用者が全員集まった状態で入所式を行います。(10～15分程度)
入所式にて、利用上の注意事項やベッドメイクの説明、避難経路のご案内をいたします。
※入所式を行う場所・時間は、事前打ち合わせ会などで職員と調整してください。
※なるべく19:00までに入所するようにプログラムを組んでください。
- 個々人で当センターに参集することがないようにお願いします。
※ビジターホールは、公園利用者との共有スペースとなっています。
当センター利用者と公園利用者との区別が難しいため、団体単位での入所をお願いします。
- 17:00にビジターホールを施設します。以降は駐車場側の通用口をご利用ください。

3. 駐車場の利用

- 宿泊当日のみ各団体1台の駐車スペースをご用意します。
使える時間は**14:00～退所日 11:00**までです。
- 荷物搬入や講師依頼などで車を利用される場合は、事前にお申し出ください。
車椅子の方用の駐車スペースもごございます。
- 緊急時の車両移動などに備え、事前に決められた駐車場番号への駐車をお願いします。
- 2台以上駐車を希望される場合は、利用日の前2週間を過ぎてから当センターへお問い合わせください。

4. 利用料金の精算

- 入所式後に利用料金の精算とルームキーの引き渡しを行います。
ルームキーは退所まで責任を持って保管してください。事務室でお預かりすることも可能です。外出の際は、ルームキーを一度お戻しください。
- 宿泊料金を精算の際、宿泊人数の最終確認を行います。
欠席者がいる場合はご報告ください。
- 精算後、シーツをご用意いたします。(希望者には防水シーツの貸し出しもあります。)

5. 荷物整理、避難経路・非常口などの確認

- 研修に入る前に、荷物整理の時間と避難経路・器具の場所をご確認ください。
避難経路は、各宿泊室に掲示してあります。
- 災害時は、ビジターホールが第1避難場所ですが、災害の状況により変更される場合があります。非常放送を聞き、速やかに避難できるようにしてください。
- 津波が発生した場合は、2階より高いところへ避難誘導いたします。

6. 研修室等の利用

- 研修室および和室を利用するときは、事務室にてカギをお受け取りください。また、利用後は戸締りをしてカギをご返却ください。
- 深夜(22:00以降)の活動は他の団体の迷惑にならないように、十分ご注意ください。
- 研修室および和室には視聴覚機器が設置されています。故障の原因にもなりますので、ご利用の際は必ず職員までお声掛けください。
- プロジェクターなどの貸出し備品(16ページ参照)もございます。数に限りがありますので、必ず事前にお申し出ください。
- プロジェクターにはノート型パソコンを接続できます。
利用を希望される場合は事前に接続可能かご確認ください。

7. 代表者会議

- 団体責任者と職員が、利用当日にプログラムの最終確認を行います(15分程度)。
代表者会議の時間および場所は、事前打合せ会の際に設定します。

8. 食 事

- 研修センターは自炊をする施設です。
- 基本的な調理器具と食器が備えてありますが、食料品(調味料)、ふきんはお持ちください。その他アルミホイル、ラップ等必要に応じてご用意ください(食器用洗剤、スポンジ、ごみ袋等は備え付けのものもあります)。
- 調理から後片付けまでの時間を想定して**23:00までに**厨房の利用を終了してください。
安全管理、衛生管理のため23:00から翌朝6:00まで厨房はご利用になれません。
- プログラム中に食事係が調理・片付けを行う場合は、プログラム用紙に調理開始と終了時間を記入してください。
- 研修センター厨房の調理器具、食器類は衛生上、野外へ持ち出しはできません。**
野外用の調理器具、食器類が別にご覧いただけますので、ご利用を希望される場合は、職員にお声掛けください。
- ケータリングやお弁当をご発注いただくこともできます。発注や食事などについては、当センターにご相談ください。

9. 入 浴

- 入所から**22:00までの間**に入浴時間を設定してください。浴室は安全管理のため22:00以降はご利用になれません。希望申請がありましたら22:30までお入りいただけます。
- シャンプー、石けん、バスタオルなど各自でご用意ください。

10. 消灯および就寝時間

- 就寝時間は団体ごとにご設定いただけます。活動予定表に就寝時間をご記入ください。ただし、22:00以降はホールや廊下等の照明を減灯します。
- 22:00以降の活動は、他の団体の迷惑にならないように十分注意してください。また責任者は、子どもたちが廊下を走ったり騒いだりしないよう見回りをお願いします。
- 研修室・食堂は22:00以降も利用可能ですが、22:00以降に利用していた場所は、各団体の責任で必ず消灯してください。
- 22:00以降はエレベーターの運転を休止します。身体の不自由な方がいらっしゃる場合は、事前打合せ会や利用当日にお申し出ください。

11. センターへの出入り

- ビジターホールは17:00で施錠いたします。17:00以降は通用口をご利用ください。
- 通用口は22:00から翌日の6:00までの間施錠いたします。この時間は、緊急時を除き外出できません。屋外で活動する場合は、22:00までに全員が当センターへ戻れるようにご計画ください。
- 防犯上の理由から、職員が施錠した出入り口は、非常時以外では絶対に開けないようにしてください。夜間は警報装置を作動させています。
- 22:00以降にやむを得ず出入りする際は、必ずその理由を当センター職員に伝え、入外出の許可を受けるようお願いいたします。

12. 起床時間

- 起床時間は団体ごとにご設定ください。ただし、6:00以前は施錠しているため外出できません。また、早朝は他の団体の迷惑にならないようご注意ください。
- 団体の起床時間がすべて同じ場合は、起床の放送をすることもできます。事前打合せ会時にお申し出ください。(希望の曲があればCDをご持参ください。)

13. 清掃

- 入所時にお渡しする「清掃チェック表」にて清掃場所の確認を行ってください。
- 原則、ご利用いただいた全ての場所の清掃をお願いしています。退所前に30~40分程度の清掃時間を設定してください。
- 入所時にお渡しする「掃除の手順」を参考に清掃を行い、終了時に「清掃チェック表」にご記入ください。
- 当センターではゴミの分別収集を行っています。ゴミの減量化と分別にご協力ください。ゴミの分別についてはP12をご参照ください。

14. 退所時間と方法

- 11:00 までには荷物の整理、清掃、忘れ物等の点検を済ませて、全ての部屋を空けてください。引き続き 11:00 以降も研修室・和室を日帰り利用される場合も、宿泊室は同様に空けてください。
- カギは開けたままでかまいません。
- ルームキーの返却、「利用報告書」、「掃除の手順」の提出を忘れないようお願いします。

15. 退所式

- 退所準備が整いましたら職員にお声掛けください。職員からみなさんにお別れのあいさつをさせていただきます。
- 退所式の場所は、事前打合せ会の時に職員にご相談ください。

16. その他注意事項

- 衛生上の理由から、**飲食は食堂をご利用ください。**
宿泊室・研修室・和室は**飲食禁止**です。
ジュースやお菓子程度の軽飲食は2階・地下ホールでも可能です。
- センターは青少年の活動施設のため、**飲酒については原則禁止**です。
- 館内全館禁煙です。2階ホール外のベランダが喫煙場所となります。
- 喫煙の際は扉を閉め館内に煙が入らないようにしてください。喫煙された方は、必ず施錠および残り火の確認をしてください。
- 電気容量に制限があるため、**ドライヤーの使用は洗面所**でお願いします。
- ベランダは避難経路です。非常時以外は出ないようにお願いします。
- 屋外での研修などで入外出される際は、個人での入外出は避け、指定された出入り口から団体でまとめて入外出くださいますようお願いいたします。
- 貴重品は団体・個人で管理してください。紛失した場合も当センターでは責任を負いかねます。

残念なことに、指定場所以外での飲食、喫煙が見うけられます。
不便な点があるかもしれませんが衛生面、健康面からご協力をお願いしています。
利用する全ての方が安全に、気持ちよく活動できるように、注意事項は必ず参加者全員に、お伝えくださいますようお願いいたします。

活動予定表の記入例

横浜市野島青少年研修センター 活動予定表

宿泊日	月 日() ~ 月 日()		団体名		
時間	1 日 目		2 日 目		
	プログラム内容	備考(活動場所等)	プログラム内容	備考(活動場所等)	
6:00			起床		
7:00			朝の集い	野外	
			朝食		
8:00			研修③		
9:00					
10:00			荷物整理・清掃		
11:00			退所式	ビジターホール	
12:00					
13:00					
14:00	入所式	ビジターホール			
15:00	入室・避難経路の確認				
16:00	研修①(レクについて)	第1研修室 (CD ラジカセ)			
17:00	調理実習	厨房・食堂			
18:00	夕食・片づけ				
19:00	研修②(ナイトウォーク)	野外			
20:00	雨天時:室内レク	第1研修室			
21:00	入浴				
22:00	就寝準備				
23:00	児童就寝	スタッフミーティング			
		24:00 スタッフ就寝			

入所は 14:00 以降
をお願いします。

避難経路確認の時間を
必ず設定してください。

退所は 11:00 までにお
願います。
駐車場の利用も 11:00
までとなります。

P16 を参考に、使い
たい場所や物品を
ご記入ください。

野外での活動を計画する
場合は、雨天時の予定も
立ててください。

スタッフの方の就寝時
間もご記入ください。

ごみの捨て方 ごみの分別・減量にご協力ください！！

【燃やすごみ】

生ごみはなるべく水気を切り、できるだけ乾かしてから捨ててください。
※生ごみは袋を2重にして捨ててください。
袋はしっかりと閉じて中身が出ないようにしてください。
(出ていたものが猫やカラスに荒らされることがあります。
コンテナの中に入れた後は、確実にふたを閉じてください。)



燃やすごみの例

生ごみ、汚れた紙(おむつなど)、ラップ、保存袋や容器、ティーバック、タッパー、ぞうきん、歯ブラシ、割りばし、カップめんの容器(紙製)やふた、など。
※おむつは汚物をトイレに流してから新聞紙などに包んで捨ててください。

【プラスチックごみ】

プラスチックごみは、商品を入れたものや包んだもので、使用後に不要となるものが対象です。
中をきれいに洗ってからなるべく小さくして捨ててください。(潰す、切るなど)



プラスチックごみの例

ビニールの包装紙、食品トレイ、マヨネーズなどの容器、ペットボトルのふたやラベルなど

【缶・ビン・ペットボトル】

食べ物や飲み物が入っていた缶やビン・ペットボトルなどです。
ペットボトルはラベルを剥がし、洗ってから小さく潰して捨ててください。



【古紙】

古紙は種類ごとにひもなどでまとめて段ボール用のゴミコンテナに入れてください。
小さいものは紙袋などにまとめて入れてください。
※内側がアルミのものは「燃えるごみ」へ捨ててください。



古紙の例

ダンボール、新聞紙、雑誌、本、包装紙、メモ帳、お菓子などの紙箱、紙袋など

※詳しくは、横浜市「ごみと資源物の分け方・出し方」(パンフレット・リーフレット)をご参照ください。

安全対策と衛生

1. 安全に活動するために

- 事前に下見を行い、センター内や周辺の危険箇所をご確認ください。また、事故防止の為、非常時以外はベランダには出ないようにしてください。
- 浜辺の生物観察等、海辺でのプログラムを計画する場合は、安全管理を徹底し、活動中は必ず救急用具を携行してください。
- 参加者全員の健康状態の事前チェックを忘れずに行ってください。
- ベッドの上には寝る時以外は上がらないようにし、二段ベッドの上で遊んだりふざけたりしないでください。
- 浴室のタイルはすべりやすいのでご注意ください。
- 厨房で火や包丁を使う場合は、安全に十分ご注意ください。
- 必ず上履きを着用してください。

2. 食中毒・感染症予防対策

- トイレの後、調理の前、食事の前には必ず手を洗ってください。
- まな板、包丁、へら、食器、布きん等は、使用の前後に熱湯でよく洗って消毒し、しっかり乾燥させてください。
- 調理の際は、中まで火が通るよう、十分に加熱してください。
- 野菜は流水でよく洗うなど、生の食材が衛生的に扱われていることを確認してください。
- 感染症の危険があるため、便やおう吐物には直接手で触れないようにしてください。
- 嘔吐の処理は職員が行います。自分たちで行わないでください。
- 乾燥して空中に漂うと口に入り感染することがあるので、便やおう吐物は乾燥させないようにしてください。

3. 食材の管理

- 食料品は、団体に責任をもって管理してください。使用する冷蔵庫、炊飯釜、厨房台を団体ごとに指定しますので必ずご確認ください。
- 冷蔵庫を含めて厨房の利用は、14:00 から退所日 11:00 までとなります。生鮮食品などがある場合は十分にご注意ください（14:00 以前は入所準備を行っています）。

4. センター近隣の総合病院

- 横浜市救急相談センター 電話#7119 または、電話 045-232-7119
- 横浜市夜間急病センター 電話 045-212-3535
(内・小児・眼科他)
- 横浜南共済病院 電話 045-782-2101
(内・外・整形・小児・眼科他)
- 金沢病院 電話 045-781-2611
(内・外・整形・眼科他)
- 済生会若草病院 電話 045-781-8811
(内・外・整形・眼科他)

※急病人がでた場合や、救急車を呼ぶ場合は職員までお知らせください。
責任者の方は状況を把握してください。



※AED(自動体外式除細動器)を1F事務所に設置しています。

持ち物

1. 必ず必要な持ち物 団体または個人でお持ちください。

①上履き



センター内は土足禁止です。必ず上履きの用意をお願いします。
安全面からできるだけ運動靴をご用意ください。

②入浴・洗面用具や着替え



タオル、石けん、シャンプー、歯ブラシ、ドライヤーなど

③救急用品、常備薬



特に服用薬はお渡しできませんので、必要最低限のものをご用意ください。

④調理に必要なもの



当センターは自炊施設のため、食料品、調味料、ふきんが必要です。
その他、ラップ、アルミホイルなど必要に応じてご用意ください。
(ゴミ袋、食器用洗剤、スポンジは備え付けのものもあります。)

⑤手提げ袋など



入浴や研修室への移動の際、個人物品を入れるものがあると便利です。

2. 参加者持ち物（例）

以下の例を参考に、活動に応じてご用意ください。

チェック	持ち物	備考
	上履き	必ずお持ちください。
	お風呂セット	石けん、シャンプーなど
	洗面用具	歯磨きセットなど
	タオル（大・小）	
	寝巻き	パジャマ、スウェット、ジャージなど
	着替え	季節や気温に応じたもの
	救急用品	消毒薬、ばんそうこう、常備薬など
	食料品	
	調味料	
	ふきん	食器用ふきん、台ふきんなど
	筆記用具	
	手提げ	あると便利です。
	雨具	
	しおり	
	健康保険証	緊急時に病院で必要です。コピーの場合医療機関によっては実費請求となる場合があります。
	その他必要なもの	エプロン、三角巾など

- 持ち物には必ず名前を書くようお願いします。
- 希望者には「防水シート」をお貸出ししています。※数に限りがあります。

3. 海辺での活動に必要なもの

研修センターの近くには野島海岸という横浜に唯一残された500mの自然海浜があります。シーズンになると潮干狩りや干潟の生き物観察などの活動を行うことができます。海での活動は危険を伴うため、起こるかもしれない事故を想定し、しっかりと事前準備を行いましょう。

①服装



動きやすく、汚れてもよい服装で活動しましょう。
日焼け防止のため肌の露出の少ない服装をおすすめします。
濡れてしまったときのために、着替えをご用意ください。

②靴



砂浜には貝やガラスの破片などが落ちているので、かかとのある靴をおすすめします。

ウォーターシューズや使い古しの運動靴、上履きなどをご用意ください。
靴下を履くと砂が入った時の痛みや違和感が軽減されます。

③帽子



熱中症対策に必ず帽子を着用してください。
つばのある帽子で、ひもやゴムのついているものをおすすめします。

④水筒



肩がけできるものをおすすめします。
活動中は常に携帯し、こまめに水分補給を行いましょう。

⑤救急用品



海の活動ではケガや病気(熱中症、低体温症)などが起こりうるため、救急セットに加え、体を冷やすもの(冷却シート、冷却パック)や、体を温めるもの(携帯用カイロ、大判のタオル)のご用意をおすすめします。

4. 参加者持ち物(例)

以下の例を参考に、活動に応じてご用意ください。

チェック	持ち物	備考
	活動する服	露出の少ない乾きやすい素材のもの(化繊など)をおすすめします。
	着替え	下着や靴下などの着替えもご用意ください。
	ウォーターシューズ	かかとのある靴がよい。サンダルは危険です。
	帽子	日よけになるつばのある帽子をおすすめします。
	水筒	活動中は常に携帯して、こまめに水分補給しましょう。
	タオル	汗を拭くときや足を洗ったときに使います。
	防寒着	季節により水温・気温が低くなる場合があります。
	潮干狩り道具	熊手、観察ケース、魚とりあみなど(貸出もしています)
	救急用品	消毒液、絆創膏、ガーゼ、はさみなど
	メガネバンド	メガネの方は、カヌーやイカダなどの活動の際に必要です。
	バンダナ	夏は非常に混雑しています。団体の目印になります。
	笛・拡声器	海辺では声が通りにくいため、あると便利です。
	その他必要なもの	

5. 貸し出し物品

ここに記載の品は破損・修理などのため数量が変動する場合や、数に限りがありますので、利用を希望される際は必ず職員にお申し出ください。

手作り工作	はさみ	146	カッター	68
	色えんぴつ一式	66	マーカー一式	51
	ラジオペンチ	30	ホチキス	20
食事作り	石臼	2	蒸し器	6
	杵	6		
海の活動	ライフジャケット大人用	40	魚とりあみ	54
	ライフジャケット子供用	77	バケツ	52
	熊手	175	観察ケース	165
自然観察	双眼鏡	27	ピンセット	175
	フィールドスコープ	47	クリップボード	45
	ルーペ	365		
天体観測	天体望遠鏡	3		
レクリエーション	キャンドル台	1	ドッチビー	10
	卓球台	2	カプラ(積み木)	
	UNO	3	トランプ	7
音響・視聴覚機器	アップライトピアノ(第3研修室のみ)	1	CD・MD・カセットプレーヤー	1
	エレクトーン(第2研修室 第3研修室)	2	CD・MD・カセットプレーヤー (キャンドルファイヤー用)	1
	電子ピアノ	3	CD・カセットプレーヤー	4
	ワイヤレスマイク第1研修室用	2	DVDプレーヤー	1
	ワイヤレスマイク第2研修室用	1	SDプレーヤー(ラジオ体操用)	1
	マイク第3研修室用	2	プロジェクター	2
	ポータブルアンプ	2	スクリーン(持ち運び式)	1
	スクリーン(各研修室、食堂)	4		
野外炊事	プレート皿	55	フライ返し	19
	お椀	134	ざる	9
	コップ	60	トンク	26
	寸胴なべ	4	おたま	7
	ボウル	12		
その他	電気ポット	4	急須	7
	ポット	6	湯のみ	125
	延長コード	6	ジャグ	6
	延長ドラム	3	ホワイトボードマーカー一式	7

●みんなで使うものですので、大切にお使いください。

6. 販売物品

スリッパ(大人用・幼児用)	歯ブラシ
洗剤	キャンドルファイヤー用ろうそく

主な体験プログラムの紹介

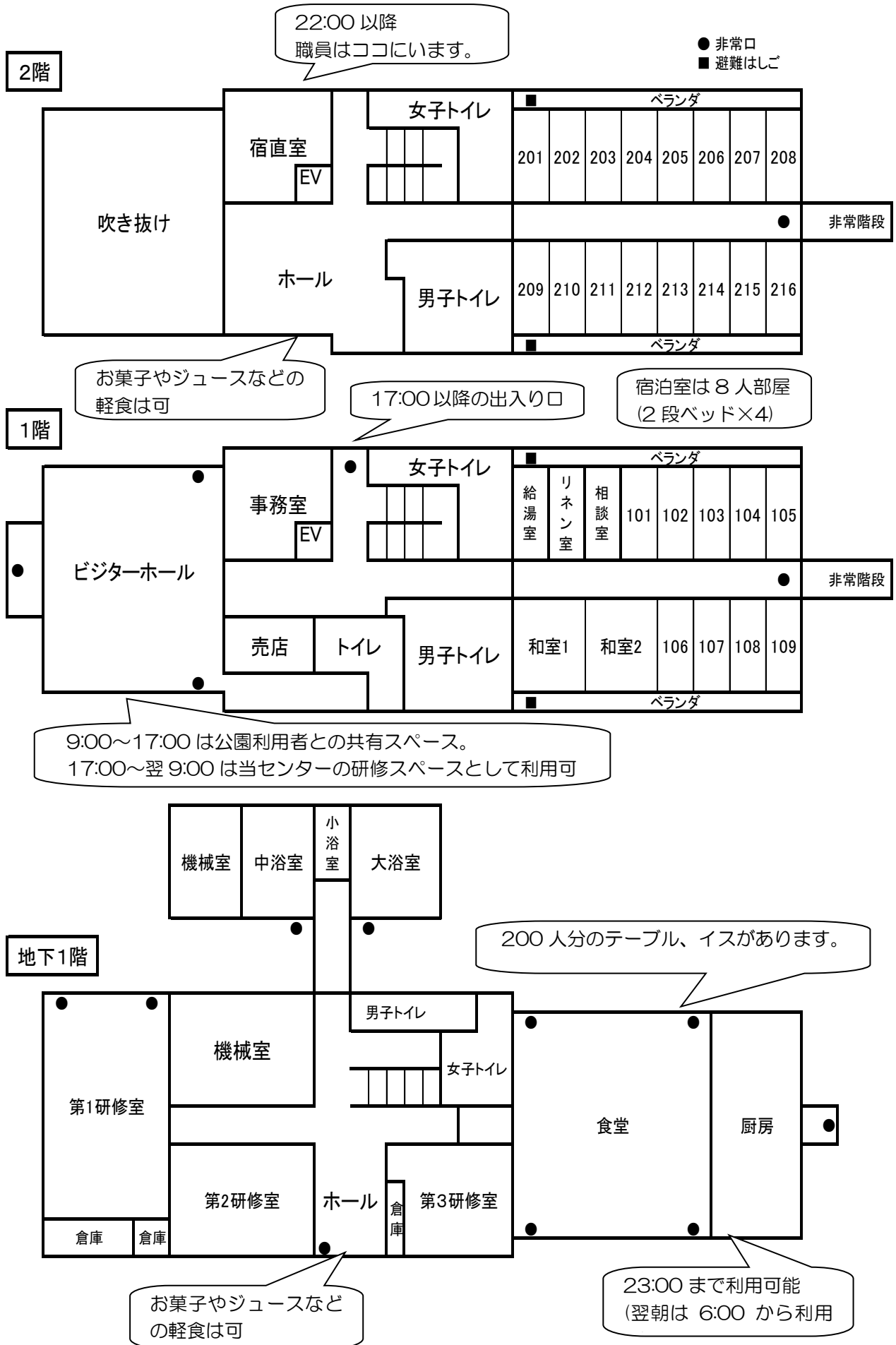
- 体験プログラムをご検討の場合は、当センターまでお問い合わせください。料金や持ち物、申込期限等をご案内させていただきます。「体験プログラム申込書」をご提出いただくと申込が完了となります。申込締切はプログラムにより異なりますのでご注意ください。
- 食育プログラムは、実施日の2週間前以降キャンセル及び人数変更はできません。実施・未実施にかかわらず、人数分の料金をお支払いいただきます。
- カヌー体験といかだ作り体験を同時に進行することはできません。
- 各プログラムの内容は変更する場合があります。また、予約状況によって実施が難しい場合もございます。

	プログラム名	概要	所要時間
自然 体験 活動	干潟観察 (磯遊び)	野島海岸の干潟で生き物を観察します。潮が良い時は潮干狩りも可能です。予め干潟時間をお調べの上、活動計画を立ててください。15ページの持ち物を参考に帽子や日焼け止め、水分補給のための水筒などをお持ちください。	1~2時間程度
	カヌー (5月~10月期間限定)	1人乗りカヌーに乗り、水上散歩を楽しむことができます。外部講師が指導を行います。団体の引率者の方に準備や片づけのお手伝いをお願いしています。小学3年生以上が対象です。	20人2時間 ~50人3時間~100人6時間(準備・片づけ含む)
	いかだ作り (4月~10月期間限定)	板とウレタンを組んで、オリジナルいかだを作り、海上に漕ぎ出します。団体の引率者の方に準備や片づけのお手伝いをお願いしています。小学3年生以上が対象です。	~80人3時間 ~160人6時間 (準備・片づけ含む)
	カニ釣り	野島にはたくさんのカニが生息しています。割り箸とタコ糸とスルメで釣れます。潮周りに関係なく実施できます。	30分~1時間程度
	干潟の生き物教室	自然体験教育研究会 山田陽治氏を講師にお招きした生き物観察会です。	2時間程度
	漁師体験 (ペットボトル仕掛けづくり)	手作りの仕掛けを作り、海に一晩仕掛けます。翌日とれた魚やカニを観察します。	2時間程度
	ビーチコーミング	海岸に打ちあがった貝殻やマイクロプラスチック、レジンペレットなどを探します。	1~2時間程度
	野島公園フォトラリー	ヒントの写真と同じ公園内の風景を探しながら、ゴールを目指します。	1~2時間
	館内フォトラリー	ヒントの写真と同じ場所を施設の中で探し、ゴールを目指します。	1~2時間
	火起こし	火起こしの道具を使って、火を起こします。チームで行います(3~5人程)	1時間程度

主な体験プログラムの紹介

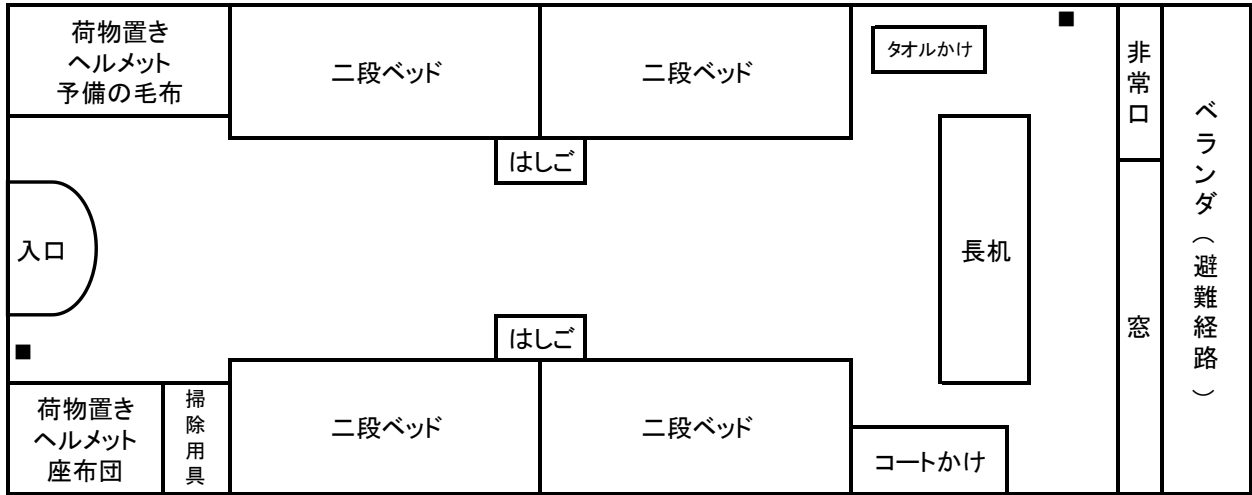
	プログラム名	概要	
クラフト (創作活動)	バードコール	木とネジを使った工作です。鳥の鳴き声のような音が出ます。	1時間程度
	化石レプリカ	本物のアンモナイトからとった型に、樹脂を入れて作ります。化石クイズ付き。	1時間程度
	のじたまくん	発泡スチロールと針金を使って、当センターのマスコット『のじたまくん』を作ります。	1時間程度
	手づくりプラネタリウム	ミニプラネタリウムのペーパークラフトです。星形の位置にコンパスの針で穴をあけながら、組み立てていきます。	1時間程度
	ビーチグラス	ビーチグラスをコップに貼りつけて、色とりどりのキャンドル台を作ります。 自分たちで拾ってきた貝殻などをつけることもできます。	2時間程度
	ポーセリンアート	磁器のマグカップに好きな転写シートを貼って陶芸窯で焼き付けてオリジナル作品を作ります。 当日のお渡しはできません。焼き上がった作品は、センターでの直接受渡し、または着払いによる配送になります。	2時間程度
	陶芸教室	講師と一緒に備前の粘土を使って手びねりで本格的なマグカップを作ります。 当日のお渡しはできません。焼き上がった作品は、センターでの直接受渡し、または着払いによる配送になります。	2時間程度
食育プログラム	野島カレー	ルーから作る当センターオリジナルのレシピによるカレー作りです。	2時間程度 (調理～完成)
	海苔づくり(12～2月)	野島特産の海苔作り体験、手作り海苔でのおにぎりは格別です。	1～2時間 (乾燥時間除く)
	もちつき(10～3月)	自分たちで蒸したてのもち米をついて、おもちを作ります。前日の下ごしらえがあります。	1～2時間
	干物作り(10～2月)	講師と一緒に包丁を使って魚をさばきます。一夜干しにして翌日に焼いて食べる体験です。	2時間程度
	ちらし寿司作り	野菜がたっぷり摂れる栄養満点のちらし寿司とお吸い物を作る体験です。	2時間程度
	シュウマイ作り	講師と一緒にシュウマイを作ります。麻婆カレーが付きます。	2時間程度
ナイトプログラム・その他	キャンドルファイヤー	ろうそくの炎を囲み、歌やゲーム、スタンプを通して親睦を深めましょう。ビジターホールで行うので、雨天でもできます。 ろうそくは持参か購入となります。	1～2時間 (準備を含む)
	キャンプファイヤー	日常生活から離れ、火を見つめながら自己を振り返る素敵な時間を分かち合いましょう。キャンプファイヤー場への予約が別途必要です。	1～2時間 (準備を含む)
	星空観察	天体望遠鏡を使って星の観察を行います。講師が天体の説明をします。雨天時は室内でスライドを使った星の解説を行います。 講師：山田陽志郎氏または照日學氏	1時間程度
	ちりめんモンスターを探せ!	しらすの中に紛れ込んだイカやカニなどの稚魚や幼生をルーペを使って探します。	1時間程度
	レクリエーションゲーム	わいわいブロック他。 グループ作りや雨天時にご活用ください。	1時間程度

センター見取り図



宿泊室見取り図とベッドメイク

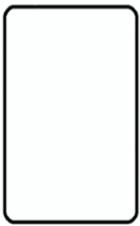
■コンセント



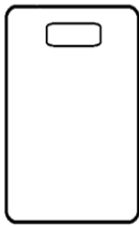
※配置が違う部屋もあります。備品の数はすべて同じです。

ベッドメイクのやりかた

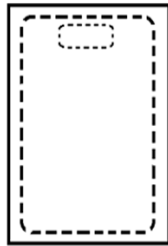
① ベッドマットをしく



② まくらをおく



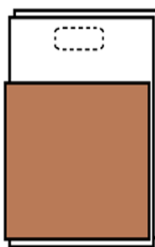
③ 1枚目のシーツを
まくらの上からしく



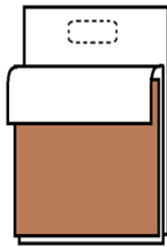
④ 2枚目のシーツをしく



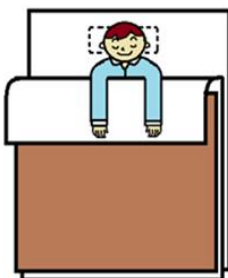
⑤ 毛布をしいて
頭のところでおいたたむ



⑥ ベッドのかんせい!

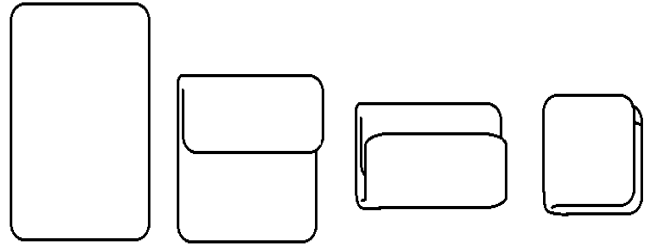


⑦ シーツとシーツの間に寝てね



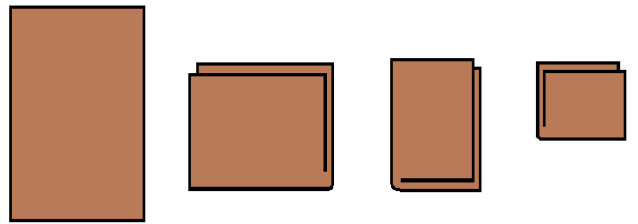
かたづけのやりかた

① 3つ折りにする。 ② 3つ折りを半分にしたたむ。 ③ かんせい!

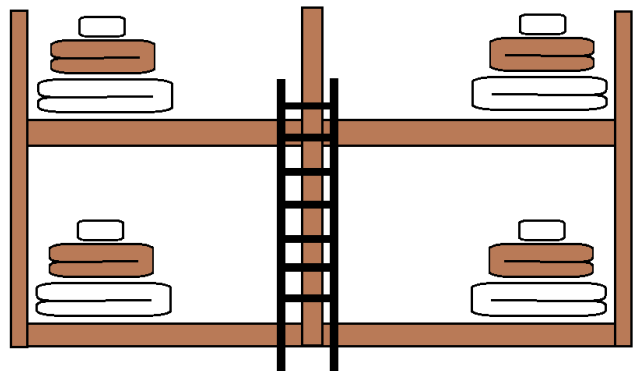


① 3回半分にたたむ。

② かんせい!



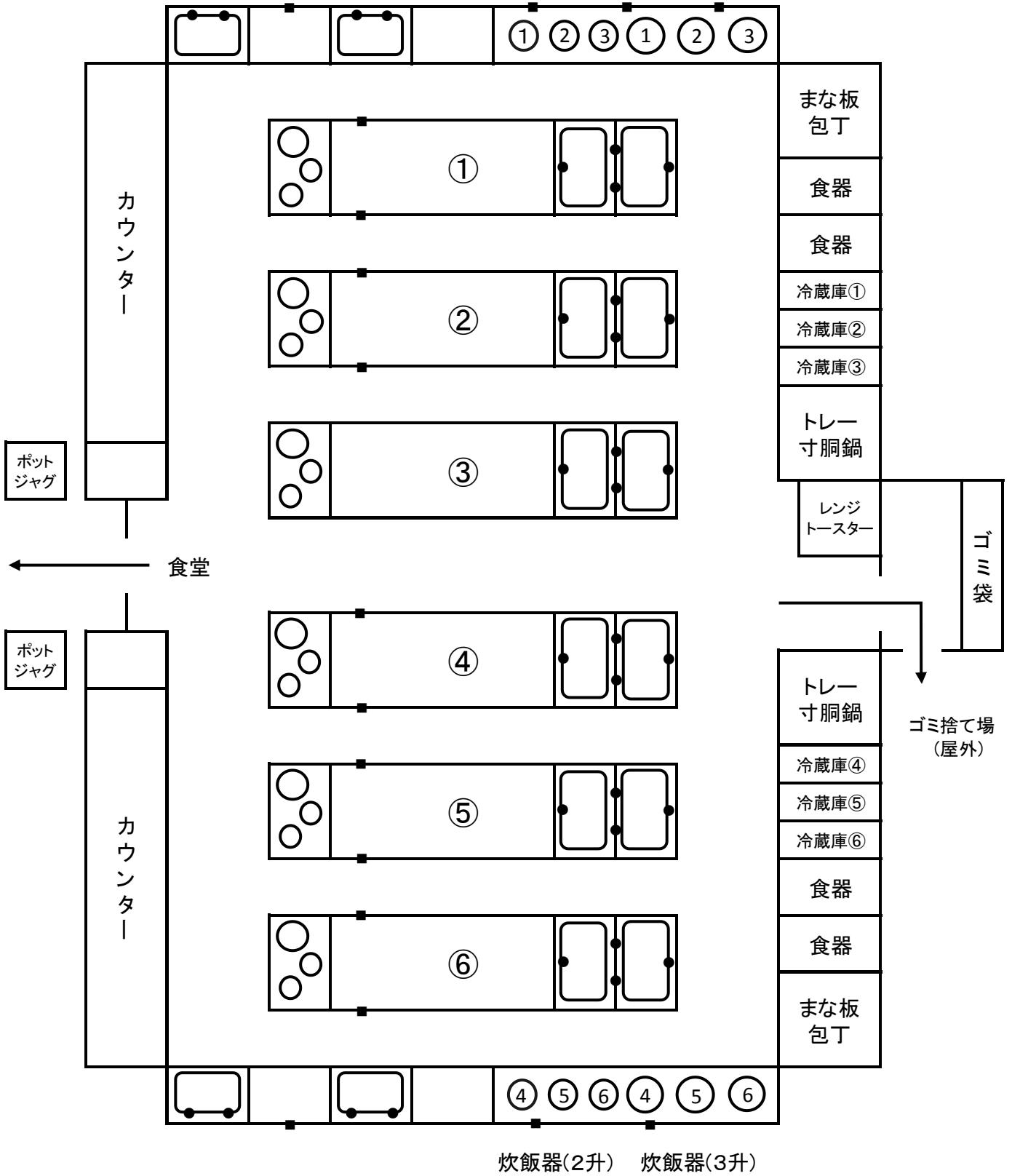
① 上から「まくら」「毛布」「ベッドマット」の順に並べてね。



厨房配置図

● 水道 ■ コンセント

炊飯器(2升) 炊飯器(3升)



【各調理台にある器具一覧】

①～⑥番の調理台の引き出しや足元の扉には次の器具が常備されています。

《引き出し》

缶きり	1	デジタルはかり	1	皮むき	5
おたま	3	菜ばし(大・小)	各2	木ベラ	1
しゃもじ	2	おろしがね	3	フライ返し	1
なべしき	2	計量カップ 500cc	1	玉子切り	1
なべつかみ	1	計量スプーン※	6		

《足元扉》

両手なべ(大・小)	各1	片手なべ	1	揚げなべ	1
フライパン	2	カス揚げ	1	やかん(大・小)	各1
ざる(大・中・小)	各1	中華なべ	1	中華おたま	1
洗いおけ	1	ステンレスボール(大・中・小)	各1		

※調理台③は他と設計が異なりますが、調理器具は変わりません。

※計量スプーンは調理台③に6セット入っています。

【厨房とだな】

プラスチックコップ	きゅうす、井
トレイ	コーヒーカップ
ズンドウ類	ひしゃく類
大なべ類	

【食器消毒乾燥庫】

汁わん(50)	汁わん(50)
ご飯茶碗(50)	ご飯茶碗(50)
湯のみ(50)	湯のみ(50)
小皿、中皿(各50)	小皿、中皿(各50)
角皿(50)	角皿(50)

【まな板・包丁殺菌庫】

包丁(22)
まな板入れ
大(5)
小(7)

※食器消毒乾燥庫の中には上記以外に「はし、スプーン、フォーク」が入ってます。

【その他の器具】

はかり	2	電子レンジ	1台	トースター	1台
ます(5合・10合)	各2	調理バサミ	2	バット	35
パン箱	4	ジューサー	3		

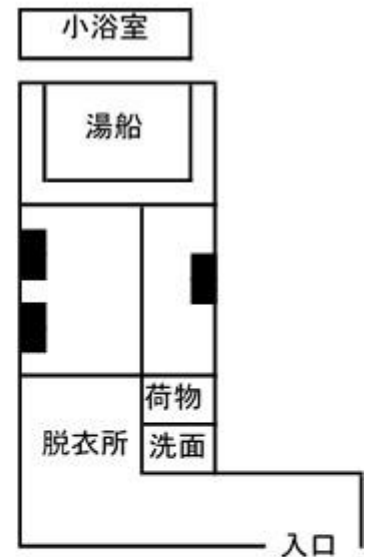
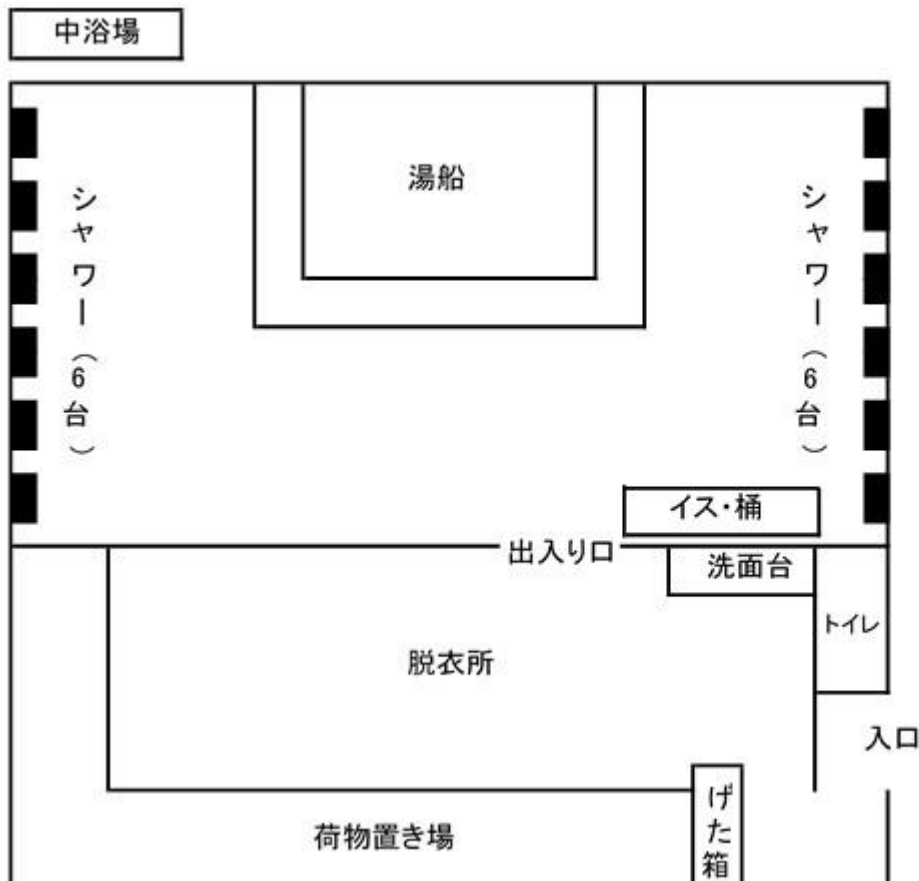
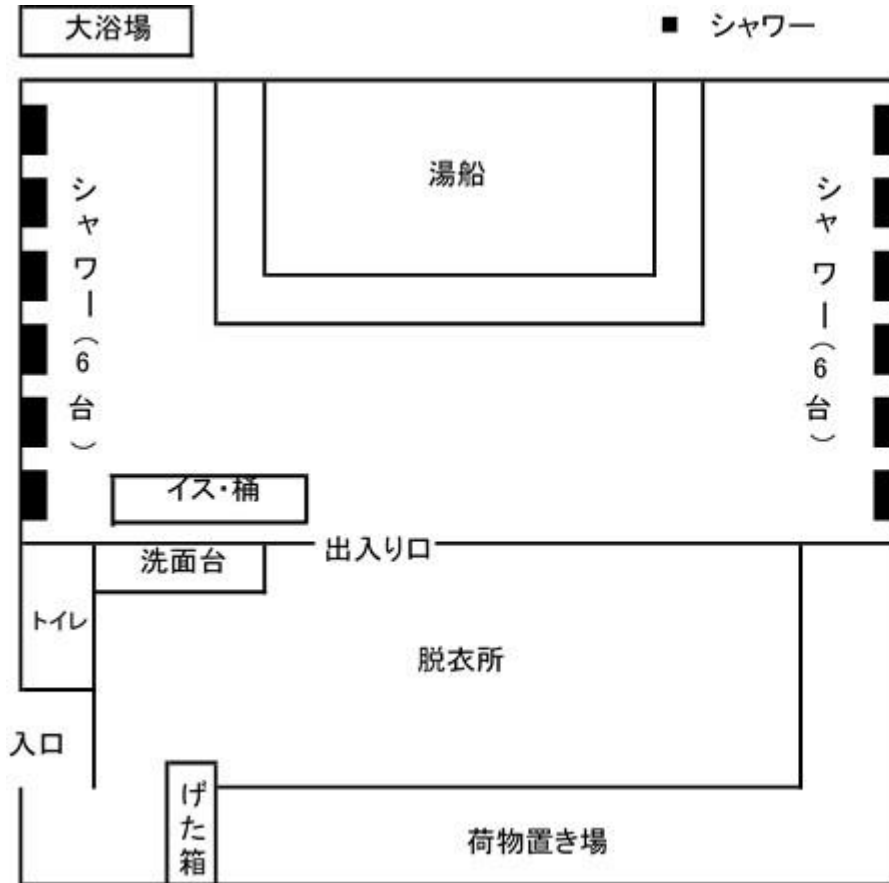
※使用の際は、職員までお声掛けください。

～厨房を利用するみなさまへ～

- ・食中毒等の衛生面に細心の注意をしてください。
- ・使った包丁、まな板、なべ等の調理器具は元の場所にしまいましょう。
- ・各調理台以外にある調理器具はゆずりあって使いましょう。
- ・使った器具はキレイに洗って水気を拭いてしまってください。
- ・火気には十分注意をし、また包丁等の取り扱いにも注意をしてください。



浴室見取り図



よくあるご質問

Q. 入所前に荷物や食材などの搬入はできますか？	A. 14:00 以降であれば可能です。 また、業者による荷物搬入のある場合はお立会いの下でお願いします。
Q. 入所前に車を止めさせてもらえますか？	A. 駐車場の利用も 14:00 以降であれば可能です。
Q. お風呂は 24 時間入れますか？	A. 22:00 には施設いたしますので、それまでにお済ませください。
Q. 宿泊室や研修室での飲食はできますか？	A. アレルギーを持つ利用者に配慮し、飲食はすべて食堂でお願いしています。食堂以外での飲食はご遠慮ください。ただし、地下1Fホール・2Fホールでは、お茶など飲んでいただいてもかまいません。
Q. 飲酒はできますか？	A. 青少年の活動施設であるため原則禁止です。 もし飲酒の会合を予定するのであれば、以下の条件をすべて満たした上で、乾杯程度(一杯くらい)にとどめてください。 ●他団体も含めて、その日の研修活動が終了している 22:00 以降であること。 ●当日宿泊している全団体から了承を得ること。 ●場所は食堂のみと限定し、苦情等が生じた場合は速やかに飲酒を中止すること。 ●団体の中に飲酒をしない大人の責任者を、必ず 1 人以上配置し、定期的に子どもたちの様子を見ること。 以上を、事前打合せ会時に全団体で必ずご確認ください。
Q. 喫煙はできますか？	A. 館内禁煙となっています。指定の喫煙所(2Fホールのベランダ)でお願いします。
Q. 清掃はどうやってやるの？	A. 当日、清掃分担表と清掃マニュアルをお渡ししますので、それをもとにお願いします。
Q. バーベキュー場やキャンプ場、キャンプファイヤー場を予約したいのですが…？	A. 野島公園ホームページよりお申込みください。 https://yokohamagrill.com/nozima/park/
Q. 研修室は何時まで利用できますか？	A. 深夜を通じて利用可能ですが、22:00 以降の活動については、就寝している方への十分な配慮をお願いします。
Q. ビジターホールを使っの活動はできますか？	A. 17:00~22:00、翌 6:00~9:00 の間は、占有スペースとして利用可能です。それ以外の時間は公園利用者との共有スペースになります。
Q. 精算はいつ行えば良いですか？	A. 当日の宿泊人数をご確認の上、入所後、17:00 までを目安にお願いします。
Q. キャンセル料はかかりますか？	A. かかりません。当日の宿泊人数で精算いたします。
Q. ゴミは持ち帰りですか？	A. センター裏手にゴミ置き場がございますので、分別してそちらに出していただいてもかまいません。(分別の仕方などについては P 1 2 参照)

アクセス

(1) 徒歩でお越しの方



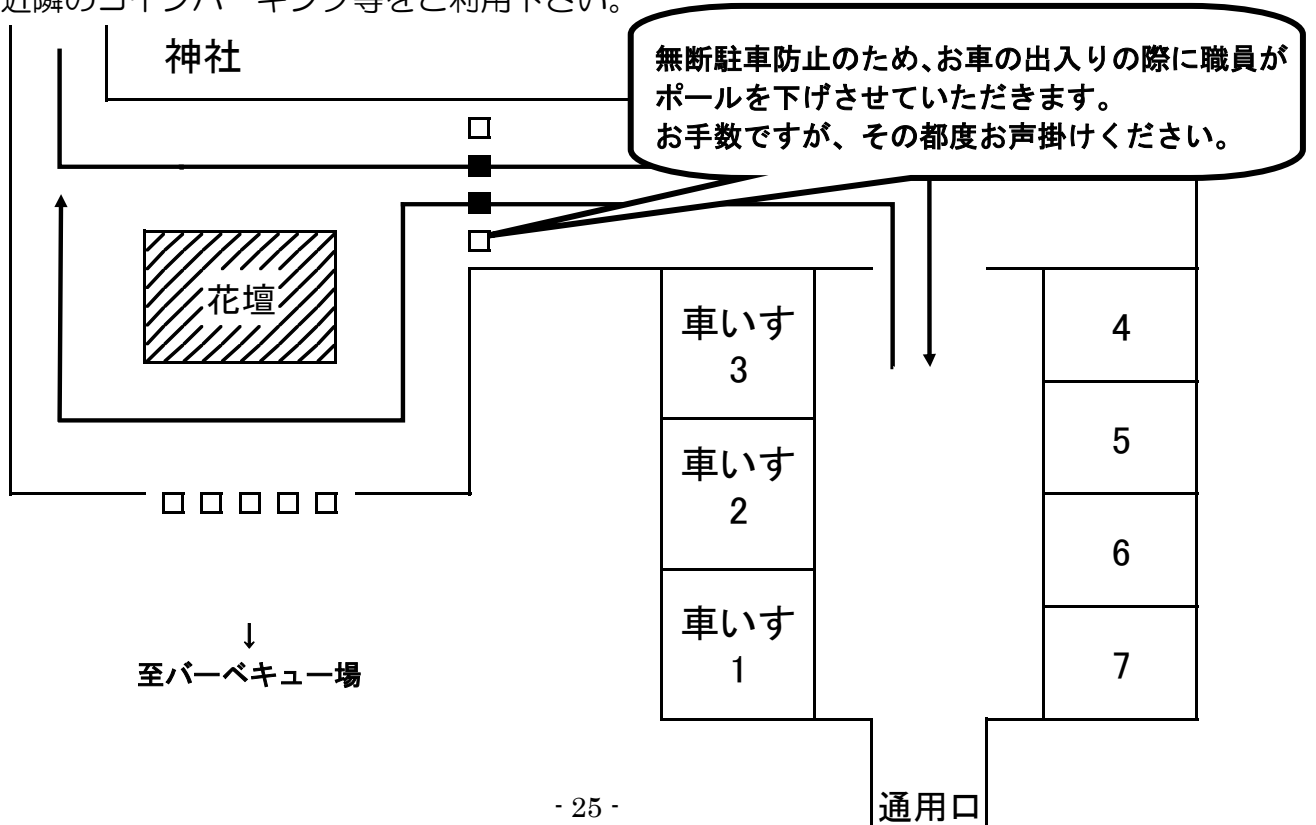
..... シーサイドライン「野島公園」駅から徒歩8分

..... 京浜急行「金沢八景」駅から徒歩20分

※ センターへお越しの際は公共の交通機関をご利用ください。

(2) お車でお越しの方

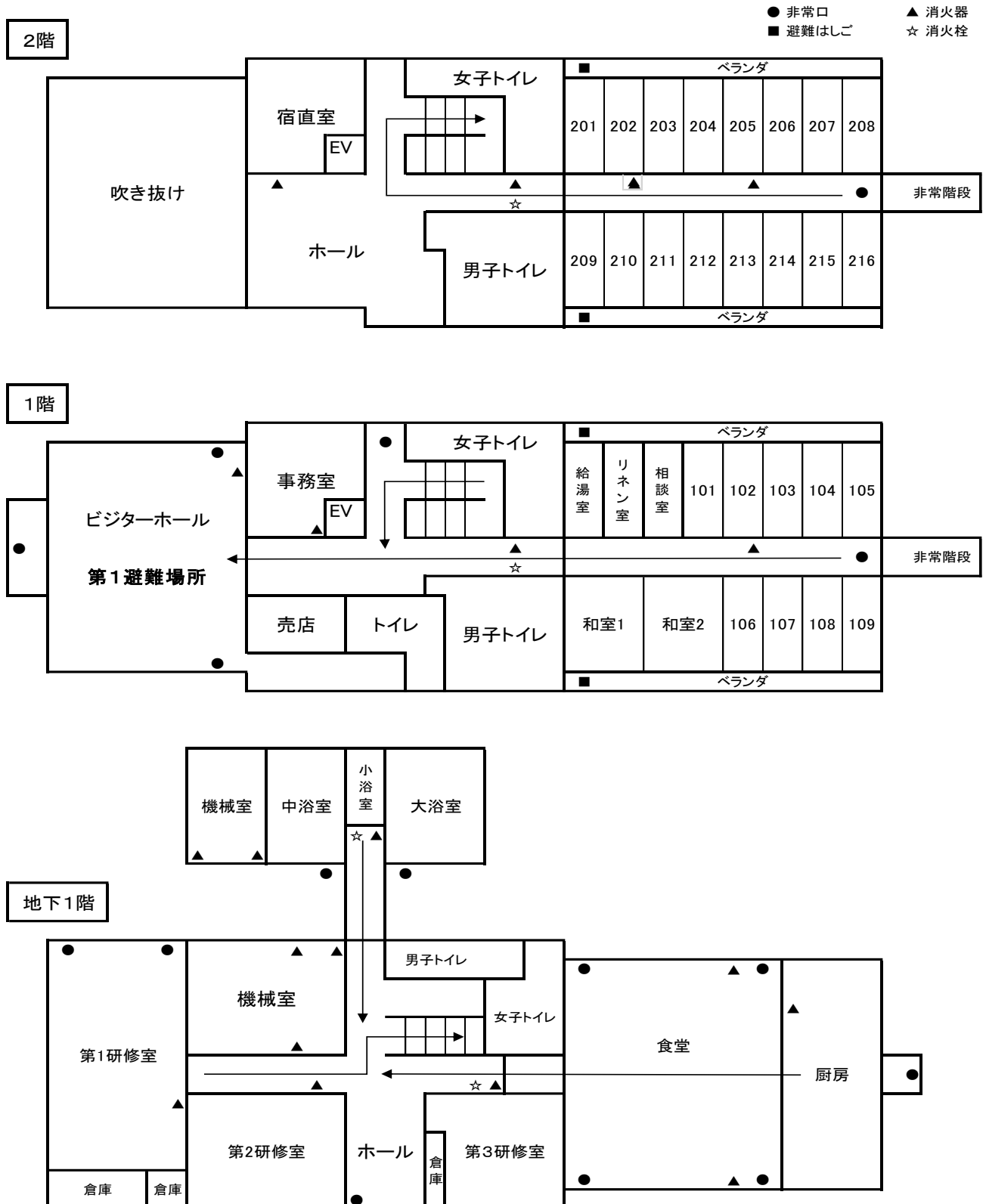
- 研修センターの駐車場は、緊急車両として1団体1台まで停めることが可能です。当日は決められた番号の駐車場へ車を停めてください。
※事前打ち合わせ会や抽選会へご参加の方の駐車場のご用意はありません。近隣のコインパーキング等をご利用下さい。



付1. 避難経路図(館内)

【災害時について】

- ・非常口・避難経路は必ず確認しておいてください。
- ・災害などの緊急時の際、参加者を迅速かつ適切に避難誘導できるようにしておいてください。
- ・異常を見つけた場合は、すみやかに職員に連絡してください。
- ・活動時に災害が発生した場合には、すぐに活動をやめ、状況判断を適切に行ってください。
- ・避難場所で人数確認を行い、ただちに職員に報告をお願いします。
- ・津波が発生した場合は、2階より高いところへ避難誘導いたします。



付2. 避難経路図(屋外)

金沢区野島公園周辺は最大 4.9mの津波の浸水が予想される地域です。
津波の際は、野島公園の「津波避難施設」と「展望台」が避難場所となります。

地震や津波の際に、迅速に避難ができるよう避難場所を把握しておいてください。

